

【NEWS RELEASE】

2021年10月29日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社廣杉計器の「SMBC事業継続評価私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社廣杉計器（代表取締役：佐々木 一郎）の発行する「SMBC事業継続評価私募債」を買受けいたしました。

「SMBC事業継続評価私募債」は、私募債買受け時に、MS&ADインターリスク総研株式会社（代表取締役社長：中村 光身）（※1）と三井住友銀行が共同で開発した独自の評価基準に基づき、企業の事業継続計画（BCP）（※2）および事業継続マネジメントシステム（BCMS）（※3）の構築・運用状況等を評価し、事業継続における今後の改善余地や取組のポイントについて、MS&ADインターリスク総研株式会社より還元させていただく商品です。

今回対象となりました株式会社廣杉計器の事業継続への取組に対する評価では、特に以下の点等が評価の対象となりました。

- ①事業継続上のボトルネック（情報システム関連など）を認識されたうえで、適切な事前対策（システムサーバのバックアップ対策や自家発電機の準備等）が講じられています。
- ②重要な外部関係先に被害が発生した場合を想定し、迅速に事業継続戦略（代替戦略）を遂行する体制や仕組が構築されています。

三井住友銀行では、「SMBC事業継続評価私募債」により、有事における企業の事業継続対応のための体制構築を支援するとともに、企業のリスク管理の取組を金融の立場から支援することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



高解像度のX線管を応用し、非破壊での透視観察が可能。品質向上を目指します。



環境負荷軽減への取組として、鉛レス・黄銅レスのエコスペーサーを開発し認定取得。



2019年社員旅行の様子。すべての従業員の働きやすい環境づくりを心がけています。

<ご参考>

※1 MS & AD インターリスク 総研株式会社

MS & AD インシュアランスグループで「リスクマネジメント事業」を担うコンサルティング会社。企業の事業継続やリスク管理における豊富なコンサルティング実績を持つ。

※2 事業継続計画 (BCP : Business Continuity Plan)

事故や災害などが発生した際に、「いかに事業を継続させるか」もしくは「いかに事業を目標として設定した時間内に再開させるか」について作成する計画書および手順や情報を文書化したもの。

※3 事業継続マネジメントシステム (BCMS : Business Continuity Management System)

BCP をもとに組織の復旧力や対応力（事業継続性）を継続的に向上させるフレームワークおよび仕組のこと。BCMS は、BCP の策定から運用、見直しまでのマネジメントシステム全体を指し、事業継続への取組が効果的に運用管理され、必要に応じて改善し、それを実行するためには PDCA (Plan Do Check Action) を実現するマネジメントが要求される。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。